

明増して新念應照出關後在ます

武田 賢 兄
梓並其後は如何の著しむるかや愛りない事と思
ふ牛物供も作儀の違者に著しむる事あり思ふ之を
さも増すなりてすか末左事を越すとは程遠い心出で
方かり理張らなしてはたりややん存地は命度
位の変更を上下して居りややんか終末は四五十度位
も下る時か物にはあらず一です雪は毎日の様に
時々降りて居りややんすけれと又解け去りややん
の一二時位より高く積りややん

諸の先達を著上げたる迄は當時は受取の子と
思つて居りややん禮の時中知也と以上物は拙地農
業上の禮儀を符合せ居たのですか凡 田
斗り前物の交か二十哩斗り帯 二ヶ州の内は
知合りの人か居りややんので視察系と訪問政一や
左京可なり耳新の美談話を聞かたりたから
仲智一層と思ひます

此の地方は地勢の険険上物の著より何程か暖い事一
遠つて種々の野菜物を作つて居る様ですか其の内には
ヤブベーザ、ビンス、リヌ、ア、ニ、オ、ニ、ヤ、ウ、等、並にトナト
勿論ビール、ポテト等も此の事か其由て最
新に興味をそつたものはトナトとありややんた地方
のシワペーにはカニウリと鎮十六那のが収穫の時には
ボーナスが著いて五十六頭になつたこの事一
(書込一ややんたは是れグリントトトト) 何れも四五頭位

某町の収穫一いのですか其れ一ても可なりぬ

(此の地方は二二〇四〇〇〇〇〇〇)

蓋にたると思ふ一を身年は八十并位いたるた
とかの噂で連中ホクホクして居りませう

また水から成るんにビビドオヤナリか作らせう前計
うりし川辺の柳をホーに白木斗り切ら

とか云ふて居りませうたビビドは確かな井頭位たつ
たと思ひませう一と良く出来て三煙葉町の篠原

オーた喜ばせりませう作水は出来る事確実と思ふ
そーと最ニ三半哩程の地かう南オウデレのうに行けば

ピー4。ナロコ類もあるですし勤くそーとも又都を
良オソ(思ひや)た新の市知せーた様に徳の地方

コリ一ニエリ州)には在来の日本人農家も大分あ
るうし又中村伊蔵さん其外も居る水やう

から参考の信未を調下度いと思つて居りませうか
餘り時を逸した信ギヤスウ制限等を不便にたり

ませうたで免に用物と被の地うに行つて少くも生を
て見度の希望を抱て居りませう未だ確定しな水

て居りませう同時に内務省の市老コラド州に行な
る必要があるか否やを疑問視して居りませう

たる存引な女水は此の限りにはあらずでーと
餘白に自詠の歌不々を認めては慰むる中批判預りませう

外にない何極遠慮なく一言大言言つて下さ
新年諸人の覚悟はかたし柳井の此の新玉に散る花な水

並退で周遊覚悟のありつるを此の新玉にあつためとなし
長一への名残りとやせん朗か友と遊べし遊べし世り春の

何事か牧水に告げし初日の出岩躡りついで産るいさをの
友 君か言ふ沙井波母は靴を身か地獄ち水君さいたいて泣て暮し
川柳? 銀世界友に見也たや下りザナノ
あつたまの神に捧る作り花